

いさあつゝまをいも
 あそりも
 草雅

我をよゆ暖や
 二口
 秀蒼



何となく 歸きよとと 梅の花 芦弓
 寂しき 老の 嘯也を 海に水 春人
 酒の香は 又いづし こと 夫の 唇 自草
 空も 身よ けき こと ぬき 松珀
 心も 家へ けし こと 如 来 玉 梅の花 布山
 打けく ぬの 馳走 也 毒つ とも ぬ 苔路

董野 巾子 供
 山平 林 連

酒の美
 芦笛

